

日時：2011 年 7 月 10 日 12:20-13:20

場所：麻布大学 8 号館

議長：信田卓男会長

参加者：会長 1 名，副会長 2 名，その他 55 名

稟議した内容はいかに記し，その概要を転記した。（敬称略）

議題：

【報告事項】

1. 事業報告 ：会長

1) 会員数（2011 年 3 月 31 日現在）

正会員：1768 名 準会員：48 名 名誉会員：1 名 会員合計：1817 名 賛助会員
：13 社

2) 第 3・4 回学会報告

第 3 回学会

正会員：460 名 準会員：10 名 非会員：47 名 学生：49 名
講師他：67 名 関係者：34 名 参加者合計：667 名

第 4 回学会

正会員：367 名 準会員：8 名 非会員：37 名 学生：10 名
講師他：73 名 関係者：25 名 参加者合計：520 名

2. 各委員会・部会報告

< 学会運営に関する委員会 >

1) 学会企画委員会：川村委員長

- ・会員にアンケートを実施し抄録に挟んで帰りに提出してもらおうという試みを行っている。次回以降に報告する
- ・今回の学会参加者会員 502 名，スタッフ含めて 550 名
- ・内科部会は公募をかけずに症例検討などを行いたいとのこと。今後もその方向でいく。
- ・各部会が希望があれば，それぞれ独自のテーマで行うがメインテーマとの兼ね合いがあるので，最終調整は企画委員会で行う

2) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

- ・6 月に雑誌が発行された。
- ・今後も投稿を促して行く。学会での発表を投稿してもらおうようお願いをしていく。
- ・j-stage がアップグレードする予定。詳細は HP で確認をしてもらう

3) 認定医認定委員会：佐藤副委員長

- ・認定委員会が作成する 2 種認定医試験対策用の教科書について，各専門部会に依頼し，順調に集まってきている

4) 専門医制度実行委員会：南委員長

- ・本日の午後から、話し合う場があるので、お手すきの方の参加をお願いしたい
 - (1) 審議事項としてあげたいことがある
 - ・本当に専門医を作っていくかどうか
 - ・実行委員会でのコンセンサスは取れていないが、本当に専門医制度を確立していくかどうかを審議して欲しい
- 審議事項となった

5) JONCOL 編集委員会：児玉委員長

- ・11号が発行予定
 - ・内科部会での発表で、理事会での許可が間に合わないので、許可を得ずに撮影をした
 - ・今後の撮影の許可などについて審議していただきたい
- 審議事項となった

< 学術部会 >

1) 外科部会：廉澤部会長

- ・昨日会議を開いた
 - ・教科書については大項目しかなかったので、キーワードを設定して欲しい。まず、キーワードを洗い出す必要がある。そのために過去の2種の試験の内容を知りたい
 - ・プログラムについて、外科症例検討会は外科部会でなく、本会で企画していただきたい。外科部会としては教育講演のような形式で行いたい
 - ・手術方法のガイドラインなども作りたい
- (信田会長より補足)
- ・教育講演のようなものは、症例検討などのメインテーマなどとの関連もあるので、企画は企画委員会と各部会と相談して決めて行くこととする
 - ・教科書作成やガイドラインの作成については、完璧でなくともまずは出すことが必要でそれを改定して行く方向で願います
- (石田認定委員長より補足)
- ・各作業部会の協力を得ながら、作成を進めたい。次回の2種試験を目指す人に間に合うように、発行したいと考えている。現在のところ、外科以外はほとんど集まっている

2) 放射線療法部会：圓尾部会長

- ・今回の学会で細谷先生の講演を企画していたが、教育講演と重複してしまったので、断念した
- ・その他はメール会議で行っており、特に報告事項はない

3) 内科部会：下田部会長

- ・教科書の執筆は進んでいる。現在は校正・監修中であり、そろそろ提出できる
- ・今後の学会でもひとつのテーマを決めて症例検討を行い、それについてのショートレクチャーをして行く
- ・内科部会としても、発表者に学会誌への投稿を勧めていきたい
- ・その他、各疾患に対する診断・治療のガイドライン作成して行きたい

4) 臨床研究部会：小林部会長

- ・2週間前から、メール会議を行っているが特に審議事項はない

5) 国際情報部会：辻本部長

- ・メールにて会議を行っている
- ・ワールドペテリナリーカンファレンス が4年ごとに行われる
- ・2012年に第1回がパリで行われる予定で、2016年にブラジルで開催予定。その後2020年の会議を日本で行わないかどうかとの非公式ではあるがオファーがきた。まだ正式な依頼はないが、受ける姿勢でいいかどうか。
この会議で承認されたので、総会での承認にかける。

6) 病理部会：鈴木部長

(信田部長補足)

- ・病理部長であった山上先生が昨年度辞任された。鈴木先生が後任となった。
- ・鈴木先生：特別な審議事項なし

7) 渉外・広報担当：杉山評議員

- ・3月の日本獣医学アカデミーでは震災により一部講演内容を変更して行った。
- ・7月13日(水)に内科学アカデミーの会議に出席予定。
- ・日本臨床獣医学フォーラム9月の年次大会の講演依頼を受けて承諾。
- ・7月の動物家族の会震災チャリティー講演依頼があり、承諾。

<その他>

1) 学術会議への学会登録申請：会長

- ・学術会議に学会登録申請の届け出をした。審査については数ヶ月がかかる。

3. 審議事項

1) 2010年度日本獣医がん学会収支決算報告 : 井上会計監事 : 資料1

2) 2010年度日本獣医がん学会：会計監査報告と承認 : 堀会計監査

1), 2) とともに承認された

3) 2011年度予算案の承認 : 会長 : 資料2

- ・認定医および一般会員の管理システム導入も合わせて承認された

4) 代6回日本獣医がん学会開催の承認 : 川村企画委員長

- ・2012年1月28日(土)・29日(日)大阪アカデミア

- ・メインテーマは雌性生殖器腫瘍

承認された

5) その他の審議事項

(1) 藤田雑誌編集委員長

- ・査読者は、3か月以内に査読を行う。
- ・投稿者は、修正を受けてから、3か月以内に最終調整は投稿がなければ、新規投稿として受け取る。
- ・投稿承諾書の新規作成をしたい。引用などについて、無断使用などがないことを確認するため、また投稿規定の変更を行いたい。

承認された

(2) 佐藤認定委員

- ・昨日の認定委員会で承認された議案を審議して頂きたい
- ・2種試験の受講済みのハンコの期限を作りたい。受けようとする前の1月から、8年間の有効期限とする。
- ・次期認定委員会(2013年)の発足から施行したい。
承認された。ただし試験規則の変更が必要なので、総会に諮る。

(3) 専門医制度を作るかどうか：会長

- ・これまでにすでに、承認されている事項なので、理事会・評議会での承認を持って、決定することとする。
承認された
- ・以後、内容などのメニューを作って総会で会員の意見を確認する

(4) 児玉 JONCOL 編集委員長

- ・ビデオ撮影を全ての会場で行いたい。

(会長からの質問)

- ・全ての会場で行うことは、費用対効果の点で疑問が残る。
- ・それぞれの発表で必要なもののみ撮影をするかどうか？
- ・予算と利用目的によるので、執行部と編集委員会に一任していただきたい。

承認された

(5) 廉澤先生からの質問

- ・次回の夏の学会の予定はいつか？

(会長補足)

- ・2012年7月7日・8日ではどうか。

承認された。テーマは肥満細胞腫 2012。

文責：保坂創史

資料1 2010年度日本獣医がん学会収支決算（単位：円）

収入の部

	金額（円）	
当期年会費	18,267,000	
認定委員会	3,455,000	
第3・4回学会	13,081,000	
預金利息	9,861	
前年度未収分会費・その他	311,776	
今年度小計	35,124,637	
前年度からの繰越金	28,666,063	
総計	63,790,700	(a)

支出の部

会誌発行費	1,987,594	
第3・4回学会	11,564,215	
認定委員会	2,052,834	
Joncol 作成費	4,482,500	
制作費	224,830	会員お知らせ・名刺等
事務委託費	2,387,700	
消耗品費	402,262	
手数料	389,235	
通信費	187,975	電話・サーバー代等
荷造送料	498,085	
旅費交通費	9,210	
会議費	10,101	
その他	519,553	HP 管理・大阪会場アレンジ・印紙等
総計	24,716,094	(b)
次年度繰越金	(a) - (b) =	(c)
		39,074,606

資料2 2011年度日本獣医がん学会予算案(単位:円)

収入の部

	金額(円)	
収入合計	35,000,000	
前年度からの繰越金	39,074,606	
総計	74,074,606	(a)

支出の部

会員名簿管理システム 新規導入	7,000,000	
会誌発行費	2,500,000	
第5・6回学会	13,000,000	
認定委員会	3,000,000	
Joncol作成費	5,500,000	
制作費	250,000	会員お知らせ・名刺等
事務委託費	2,600,000	1,300 × 2,000
消耗品費	500,000	
手数料	450,000	
通信費	250,000	電話・サーバー代等
荷造送料	700,000	
旅費交通費	300,000	
会議費	200,000	
その他	700,000	HP管理/印紙等
総計	36,950,000	(b)
次年度繰越金	(a) - (b) =	(c)
		37,124,606